



令和4年度 第11号

発行日 令和5年3月15日(水)

発行 白井市教育委員会

TEL047-492-1111 FAX047-492-6377

各学校 カラー版1部 C4th 全職員に配信

令和4年度もあとわずかとなりました。本年度も新型コロナウイルス感染症対策を考えながらの教育活動ではありましたが、少しずつ活動の自由度が増してきたことは大変うれしいことでした。学校生活でのマスクの着用の考え方も今後変化してくると思います。これまでの先生方のご尽力に心より感謝いたします。ありがとうございました。

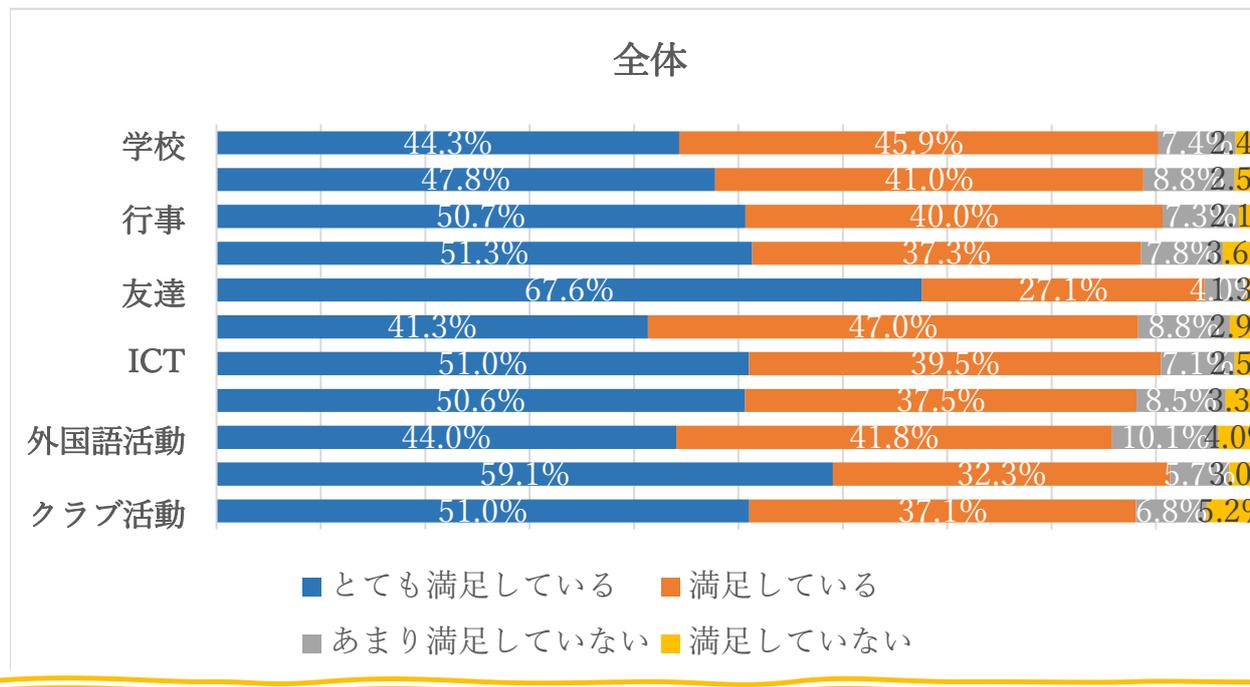
来年度も学校とともに、教職員の皆様とともに、保護者・地域の皆さんとともに、白井の教育の充実に努めてまいります。よろしくお願いいたします。



### 学校生活満足度調査

各学校で実施した「学校生活満足度調査」の市全体の結果を報告いたします。学校についての満足度は、小学校90.6%（市の目標値93%）、中学校89.4%（市の目標値89%）でした。いずれも高い数値で、大きな成果が出ています。ありがとうございました！

詳しい結果は、白井市教育委員会HPに掲載しました。また、それぞれの学校のデータも各学校に配付しています。来年度の計画に生かしてください。



### 白井第三小学校の学校自慢

生徒数：630名      学級数：25学級

児童が汚れや友達の動き、自分の心の動きに気づいて掃除をする。また、「振り返り」をすることでよりよい行動にするためにどのようにすればよいかを自ら考え気づけるようにする取り組み「気づき清掃」。

本校の児童は主体的に掃除に取り組んでおり、教室や廊下をきれいしています。あわせて、児童自身がよりよく成長していくための習慣を身につけています。

## 令和4年度 学校教育「LVIプロジェクト」振り返り

学校支援アドバイザーの先生方から、本年度の振り返りと、来年度に期待することを聞きました。

### 「LVIのL」・・・「子どもの内面」にスポットをあてた学びの創造プロジェクト (*Learning*) 田中 聡 先生

「今年度を振り返って！」

先生方の普通の授業を参観させていただき、沢山の気づきをいただきましたことにまずは感謝申し上げます。学習問題が板書にしっかり書かれるようになっていたり、認めたり価値付けたりする評価の言葉を意識していただいたり、いい変化を沢山見せていただきました。

学力向上に向けた取り組みは、日々の積み重ねです。何を目指し、どう行動改善し、評価するのかが、日々問われているのです。まずは、現状で問題になっていることを把握し、目標を可視化しながらどう数値目標を設定するか、そして実践し、何が変わったか、何が目標に近づいたかを評価し、共有する。このサイクルを意識して取り組んでいただきたいと思います。新しい学習指導要領では、カリキュラム・マネジメントの推進が、中心のひとつに据えられています。まさに今を変える実践・評価が現場に問われているのです。是非、何がどう伸びたのかを具体的に話せる取り組みを続けてほしいと思います。

簡単ではありませんが、皆さんで力を合わせて、白井市の児童生徒の学力向上に尽力していただきますよう心よりお願い申し上げます。微力ではありますが、私も尽力していきたいと思っています。

### 「LVIのV」・・・「活力」を高める体育授業・活力創造プロジェクト (*Vitality*) 齊藤 秀樹先生

「運動」と「学力」の間には、深い関係があります。それは、物を覚えたり、考えたりするのも、身体を器用に、巧みに動かしたりするのも、全ては「脳」がするものだからです。最近「運動のできる子の方が、できない子よりも学力が高い」という結果が数多く報告されています。それはなぜでしょう。一つは運動すると「脳が活性化される」ということです。これを日本女子体育大学学長の深代先生は「連脳神経」と呼んでいます。もう一つは、運動すると「活力」が育ちます。「活力」とは、「わかるようになりたい。できるようになりたい。うまくなりたい。勝ちたい。」という内面からのエネルギーのことです。これがないと、子どもは決して伸びないし、成長しません。

各学校では、これからも体育や部活動、行事や外遊びを通して、脳の活性化を図り、活力を高め、「かしこく、たくましい子」を育成してほしいと思っています。

### 「LVIのI」・・・授業をはじめ、すべての活動でのICT活用のプロジェクト (*ICT*) 吉田 文江先生

GIGA スクール構想 2年目が終わろうとしています。

学校では、ICT を活用しての新たな学びが展開されています。コロナ禍の中、オンライン授業で子供たちの学びの保証。授業では、タブレットを上手に扱う低学年の子供たち。わかりやすくパワーポイントで資料を作成し、大人顔負けのプレゼンをする高学年の子供たちや中学生。まさしく子供たちの可能性は無限大。子供たちの輝く未来が見えてくるようです。教員は、その窓口を閉ざしてはいけません。まずは、授業の土台を作り上げる。そこに効果的にICTを活用できる場面を考える。そうすれば学びの場がさらに広がり、子供たちがワクワクするような授業が展開されるはずで。

昨日より今日。今日より明日。進化するICT活用、学びが来年も広がりますように。

来年度も更に魅力ある白井の学校づくりを目指し、白井市の教職員皆さんで力を合わせていきましょう。